

核兵器全面禁止条約の交渉開始を 香川県原水協ニュース	NO 108	2019年5月20日 原水爆禁止香川県協議会 電話・FAX087-831-5350
--------------------------------------	-----------	--

西讃最大の難関鳥坂を無事峠越え！！

行進者や署名された方々それぞれの平和行動に感動 署名：6筆
求められる自治体との平和の協同行動

天気予報では香川は「雨」。観音寺市役所集合時にはポツポツと降り始めました。その中での出発式となりました。森川善弘観音寺原水協理事が挨拶で、毎日新聞の記事を紹介しました。

内容は1950年前後にGHQによる言論統制の下、反戦・反核のメッセージを手書きで作成し辻に張り出す「辻詩」という方法で反戦・平和の訴えを行ったというもの。朝鮮戦争で原爆使用の危機感が作成の2人（峠三吉と四国五郎）を突き動かしたという。今日の平和行進もこの先輩に習って、私達の平和の発信をしようと呼びかけました。ちなみに作成したもの約200枚の内8枚が現存され展示されているようです。（大阪大学総合学術博物館）

午前中行進参加者の西岡英樹さんは、2年前の長崎大会に三豊民商事務局に入り2週間で参加。西岡さんはそのときの感動を「物の見方が変わり、こころが豊かになった」と言ってくれました。午前中の行進は行進ミュージックに合わせ、カラスが伴奏。麦が黄金色に輝く中での行進となりました。三豊市役所には定刻の到着でした。

昼休みの署名

行進車の看板を見て、1人の身奇麗な老婦人が近づいてきました。彼女は平和行進＝原爆と反応し声をかけてくれました。すかさず「ヒバクシャ国際署名」をお願いすると快諾。父親が広島出身で戦死をしたことなどを語り、戦争を憎むこと、今の詫間町の平和を精一杯楽しんでいることを話していただき、私達の行動に「お礼」。また夫婦で市役所に来られた方が署名し、資料が欲しいとの要望があり、署名用紙を渡しました。

また昼からの行進に一步でも参加された、真鍋繁幸さん（89歳）は15年間平和行進に参加していたが、歩くのが思うに任せられなくなったと奥さんと参加されました。

今日のおもしろマップは西讃最大の難関「鳥坂」峠の「鳥坂まんじゅう」。この坂は「とっさか」と読むのです。いかにもなつかしい酒蒸しのコシアンが入った素朴な味でした。交通量が多く、行進車の運転に難儀な、行進者にはトロトロ坂の難関を無事に善通寺に入りました。残念なことに、行進者は2人で、四国コースの横断幕のみでした。もっと行進者を！！

自治体の激励

観音寺市・三豊市ともペナントなど自治体の協力は定着していますが、残念ながら事情はあるようですが、粘り強く出発式や終着集会での激励をもらえるような働きかけを強めたいものです。